

2019年度 事業報告

令和2年4月30日

本報告は、公益財団法人天田財団の2019年度(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)における事業報告を行うものです。

2019年度には従来の「金属等の加工に係る研究への助成」のほかに「金属等の加工業に従事する人材の育成と技能の向上に有益な資格の取得に対する助成」を新たに公益事業に加えました。

本年度の事業内容としては従前通り、金属等の加工に係る優れた基礎技術の研究活動への助成を通じて学術及び科学技術の振興を促し、併せてその成果の普及啓発活動を行いました。また新たな公益事業として、金属等の加工に従事する者の技能と地位の向上に有益な資格の取得に対する助成を行い、勤労意欲のある者に対する就労の支援を図りました。これらの事業により、わが国の産業及び経済の健全な発展に寄与する事を目的に事業を推進してまいりました。

本年度末には、新型コロナウイルスによる影響を少なからず受けることになりましたが、当初計画した事業については計画通り実施することができました。以下に実施した事業内容をご報告いたします。

1. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する調査・研究に係る助成事業

1) 研究開発助成

国内の大学・大学院・高専、及び国公立並びにこれに準ずる研究機関で行われる研究開発のうち、当財団の対象とする各技術に関する研究開発及び調査を行う研究者からの応募に対し、選考委員会にて公平且つ厳正な選考の結果、当財団の選考基準にふさわしい助成テーマ60件に助成金額2億609.8万円を交付いたしました。

2) 奨励研究助成(若手研究者育成)

国内の大学・大学院・高専、及び国公立並びにこれに準ずる研究機関で行われる研究開発のうち、当財団の対象とする各技術に関する研究開発及び調査を行う若手研究者(令和2年3月31日時点で39歳以下)からの応募に対し、選考委員会にて公平且つ厳正な選考の結果、優秀な若手研究者を育成するため、助成テーマ21件に助成金額4,151.1万円を交付いたしました。

2. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する研究に係る国際交流の促進及びその助成事業

1) 国際会議等開催準備及び開催助成

国内の大学・大学院・高専、及び国公立並びにこれに準ずる研究機関で行われる研究開発のうち、当財団の対象とする各技術に関する国際会議、国際的な研究集会等の開催準備について関連機関代表者からの申請のうち、助成件数4件に助成金額200万円を交付いたしました。

上記に加え、海外にて実績がある国際会議で、国内で初めて開催される会議に対する準備・開催に対する助成についても前年度より募集を実施いたしましたが、本年度も応募が無かったため助成を行いませんでした。

2) 国際会議等参加助成

国内の大学・大学院・高専、及び国公立並びにこれに準ずる研究機関に所属する研究者のうち、当財団の対象とする各技術に関する国際会議、国際的な研究集会等へ参加する研究者個人からの申請のうち、前期・後期合計で助成件数35件、助成金額1,239.3万円を交付いたしました。上記に加え若手研究者枠を設け、前期・後期合計で助成件数9件、助成金額290万円を交付いたしました。

3) 国際シンポジウム準備開催助成(若手研究者枠)

国内の大学・大学院・高専、及び国公立並びにこれに準ずる研究機関に所属する若手研究者(令和2年3月31日時点で39歳以下)自らが主催者となり、3か国以上の研究者を招聘して開催する助成分野に関するシンポジウム等については、本年度は採択がありませんでした。

3. 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に関する研究等成果の普及啓発事業

1) 研究成果報告書等の配布による普及啓発事業

2019年度の研究開発助成事業並びに国際交流促進助成事業によって得られた成果を「天田財団助成研究成果報告書2019」としてまとめ、それに昭和62年から最新年度までの研究成果報告書を収録した、キーワード・研究者等の検索機能付きのDVDを付けて、国内研究機関・産業界等へ2,000部発刊・配布いたしました。

また、毎年度特集テーマを設定し、過去の研究成果報告の中から特集テーマに相応しく、かつ技術の向上と発展に効果が大きいと判断される研究成果を選考して、その研究者に改めて執筆いただいた論文を、機関誌

「Form Tech Review」として1,700部発刊・配布いたしました。

2) 研究成果発表会開催による研究成果の普及啓発事業

第3回レーザープロセッシング助成研究成果発表会

レーザー学会主催のOPIE'19の公式併設イベントとして、4月24日にパシフィコ横浜で開催しました。研究者や企業開発者など約150名が参加されました。

第17回天田財団助成研究成果発表会

日本塑性加工学会の春季講演会に同時開催して、6月7日に同志社大学で開催しました。研究者や企業の学会会員など約100名が参加されました。

3) 公共展を活用した研究成果の普及啓発事業

塑性加工及びレーザープロセッシングに関連した公共展に参加して、企業の開発者等に向けて助成研究成果報告書等を配布する普及啓発事業を行いました

OPIE'19: 4月24~26日

金属プレス加工技術展名古屋: 6月19~22日

Photonix2019: 12月4~6日

LaserSolution2020: 1月20~22日

4) 2019年度天田財団助成式典開催による普及啓発事業

2019年度に報告された助成研究のなかから優れた研究成果を紹介する「招待講演会」と、2019年前期に採択された助成者に対する「助成金目録贈呈式」を次第とした「2019年度天田財団助成式典」を11月30日に開催し、研究者75名を含む140名が参加されました。

5) 天田財団ニュース(No.7、No.8)の発刊による普及啓発事業

「天田財団ニュース」は、助成した研究者の研究室紹介や財団の活動の近況を記事として掲載しています。昨年度に引き続き、年2回「天田財団ニュース」を合計3,600部発刊し、関係する研究者や公共展等で広く配布いたしました。

4 . 金属等の塑性を利用した加工及び高密度エネルギー下での諸特性を利用した加工に従事する者の技能と地位の向上を目的とした資格の取得に対する助成事業

定款の目的及び事業の条文を改訂し、内閣府より変更認定を受け、令和元年8月22日に公益目的事業の「公 - 2」として認定されました。

本年度は、厚生労働省所管の国家検定資格である「技能検定」の「工場板金」に係る受検手数料を助成することで、「技能士」資格取得を支援するものです。2019年度後期受検より助成を開始し、149団体の428名に707.1万円の助成を行いました。

5 . その他

2019年度事業活動の状況の詳細は、「2019年度 事業報告 附属明細書」のとおりであります。

以上